

国際医療救援部門・国際救援部門共同研究

これからの災害医療救援  
グリーンレスポンスへの対応

国際医療救援部門 中出 雅治  
国際救援部門 佐藤 展章

# これまでの災害医療救援

すみやかにニーズを把握して適切な医療を適切な場所で迅速に提供する



## 次の段階

環境に与える影響を最小限にする支援

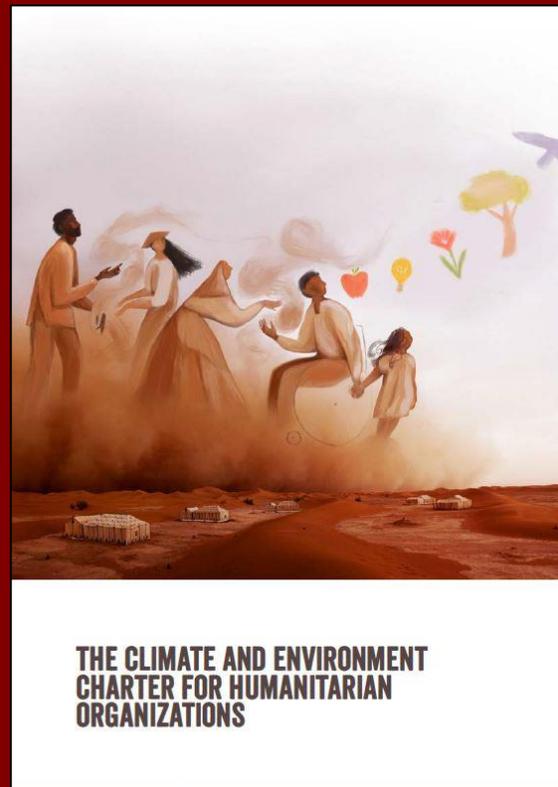
13 気候変動に  
具体的な対策を



気候変動を引き起こしている原因の一つとされている「世界の温室効果ガス排出量の増加」

# The Climate and Environment Charter for Humanitarian Organizations

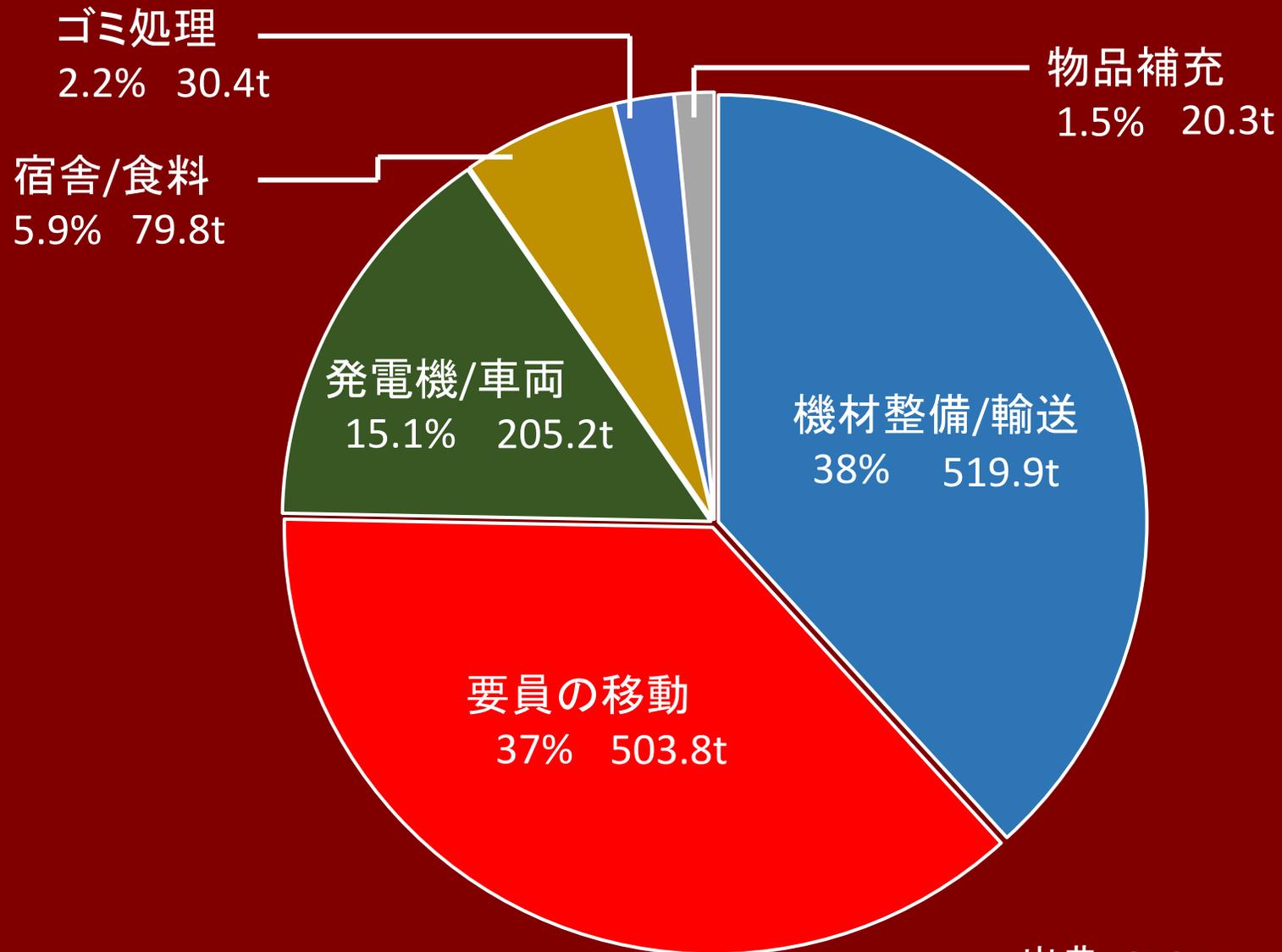
## 「人道支援団体のための気候・環境憲章」



2021年5月

1. 高まる人道的ニーズへの対応を強化し、人々が気候と環境の危機の影響に適応できるように支援する
2. 支援において環境の持続可能性を最大限に高め、温室効果ガスの排出を速やかに削減する
3. 地元関係者やコミュニティのリーダーシップを尊重する
4. 気候と環境のリスクを理解し、エビデンスに基づいた解決策を開発する能力を高める
5. 気候・環境対策の強化にとどまらず、人道セクター全体で協力して取り組む
6. 人道団体の影響力を利用し、迅速かつより意欲的な気候変動対策と環境保護を促す
7. 目標を設定し、宣言した誓約の進捗状況を評価する

# フィールドホスピタルの二酸化炭素排出(4ヶ月)



合計 1360トン/4ヶ月

ちなみに日本の一般家庭1世帯が  
1年間に出す排出量=2.72トン

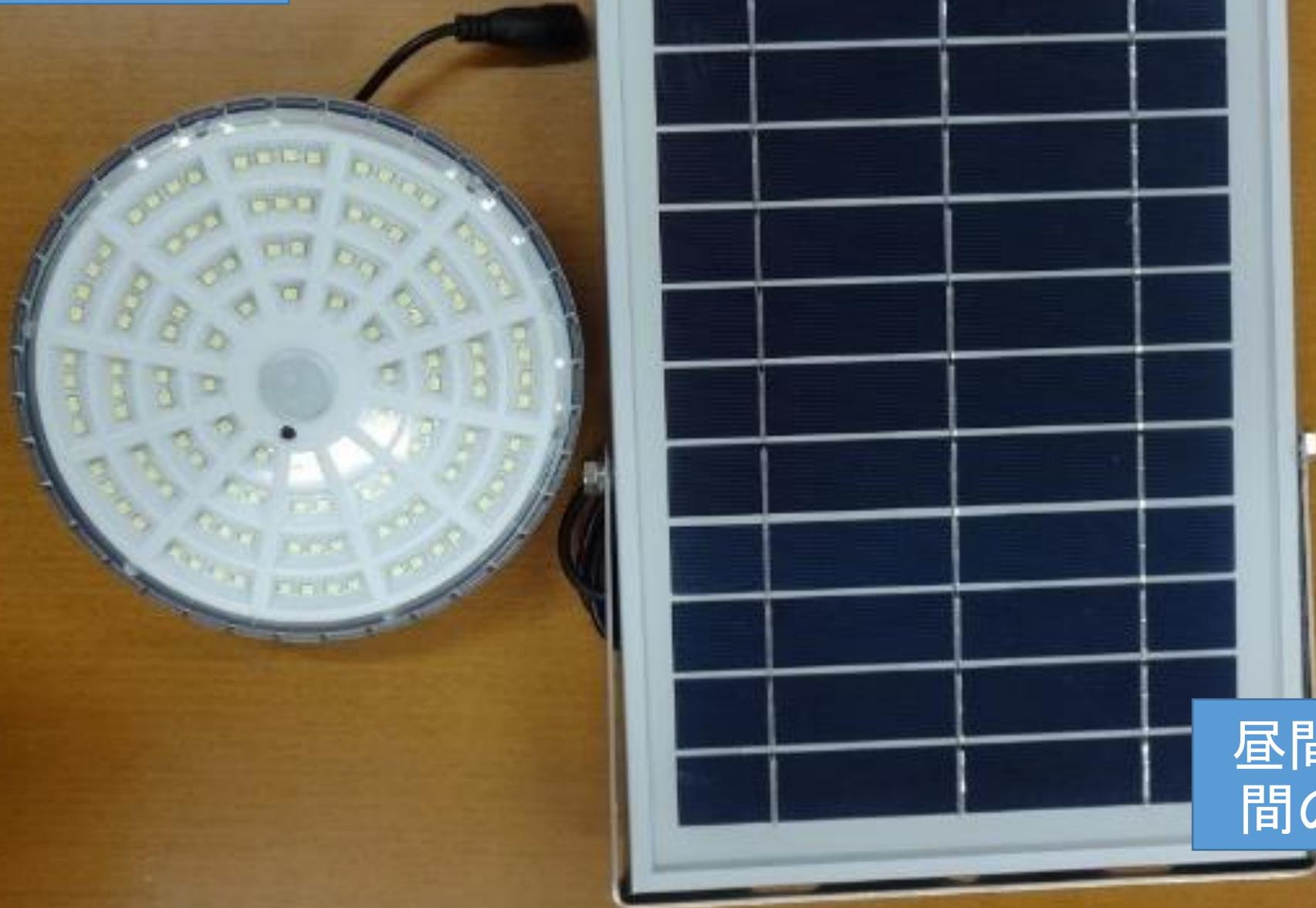
500世帯が1年間に排出する量に相当

# 再生可能エネルギーの医療救援への利用



370Wh  
5kg 超軽量

トイレの照明を太陽  
光パネルで



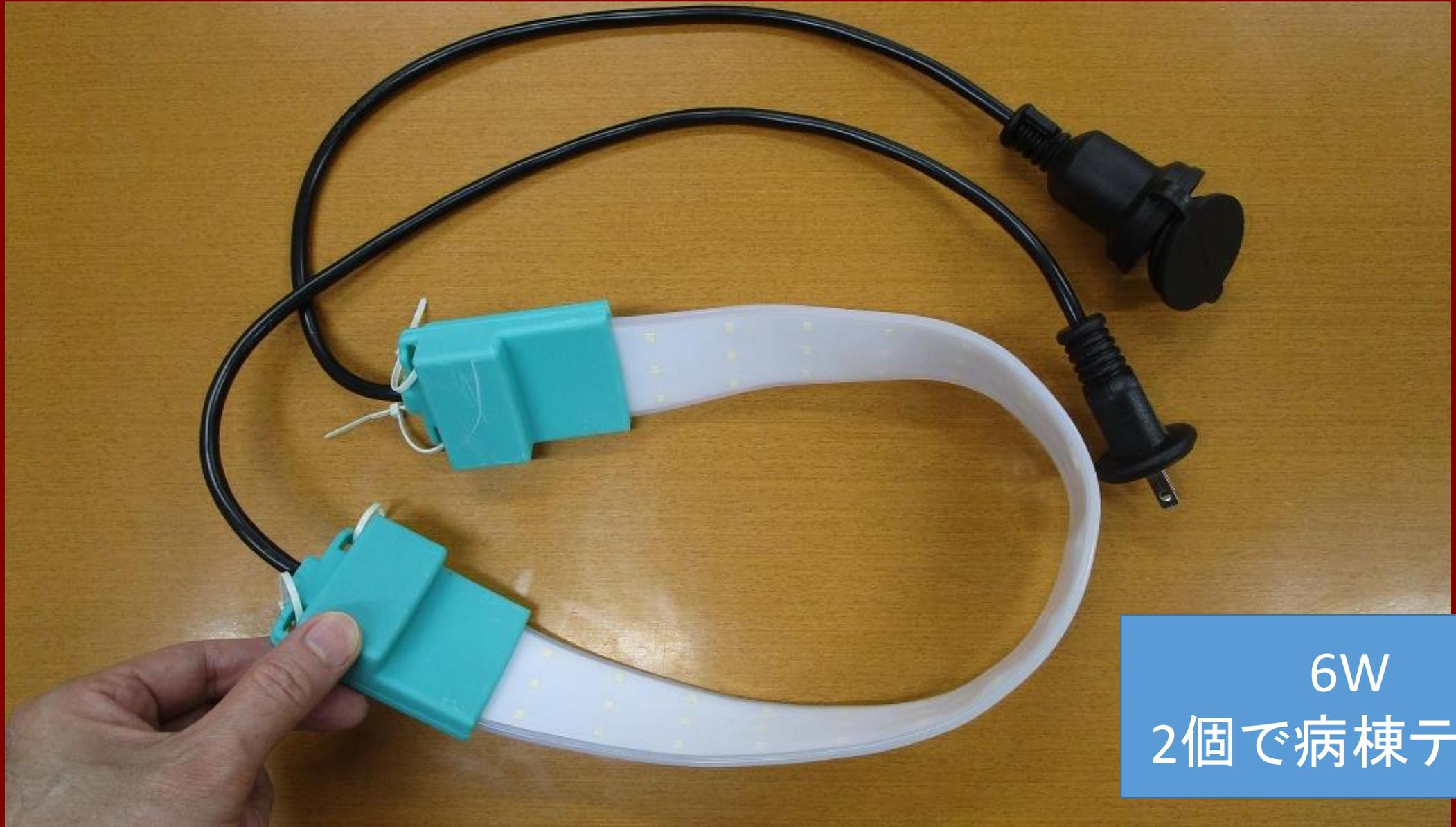
昼間の太陽光で夜  
間の照明をつける



# 発電機の次に重い資機材：医療用テント

軽量化を目指して  
設計、試作中

# ライトの軽量化と省エネ化



6W  
2個で病棟テント

# 最終的な二酸化炭素排出量の削減量

資機材の軽量化  
ガソリン消費量の削減

試算：現行から20%のCO<sub>2</sub>排出量削減

# 2023年度計画

1. 太陽光パネル＋蓄電池 →  
どれだけの資機材を実際に稼動できるか  
実証実験（4月、10月）
2. 重量物であるテントをどれだけ軽量化できるか  
実物大プロトタイプ製作（10月目標）

# 今後の課題

製造工程も含めた総CO<sub>2</sub>排出量の評価

償却後の処理方法の検討

コスト面での評価